



関西大学校友会
KANSAI University Alumni Association



平成26年度校友会・総会 (会長挨拶)

平成26年10月19日(日)

BIGホール100
(第2学舎4号館)

第10代校友会・会長
寺内俊太郎

平成25年期会長基本方針

1.総力結集

「母校愛」の深い校友を軸とした全校友の更なる
「校友」意識の高揚と「母校支援」を図る。

- ① 全校友数 約 40余万名
 - ・住所判明校友数 30余万名
 - ・学生会員は毎年 約6000名が増加する。
- ② 支部組織数 約250団体
- ③ 会費納入者数 約 10余万人



関西大学校友会
KANSAI University Alumni Association



「母校愛」を具現化する組織の構成

- ① 代議員数 ～1500名
・地域支部組織、各種団体、職域、OB会等より選出の
「母校愛意識の高い校友」
- ② 常議員数 ～70名
本部役員役職数 会長 1名 副会長 5名
 部長 6名 副部長 18名 計30名
- ③ 校友評議員数 50名/97名
- ④ 校友・理事数 10名/36名

平成25年期・校友会活動の指針

1. 校友・理事の**母校運営参画**意識の更なる向上
2. 校友・評議員の**諮問機関**意識の醸成

評議員会：4つの小委員会(分科会)活動の充実(**具体案**)

- ① 母校財政の把握
 - ② 少子化に伴う「高大連携策」等の深耕
 - ③ 専門職大学院の動向
 - ④ SF入試制度について
 - ⑤ 母校の教職員給与の実情把握
3. 常議員の**校友会・本部事業の充実・強化**の推進
 4. 代議員の**地域支部活動参加・充実発展**の助力
 5. 校友の**積極的な校友会活動**への参加
 6. 「**母校創立130周年事業の支援**」

2. 熟慮断行

「校友会活動」を具体的に推進する。

- ① 学生会員を対象とした校友会啓蒙活動。
- ② 健全財政の維持。
- ③ 校友会年間活動行事の充実。
- ④ 地域支部活動支援。
- ⑤ 職域支部組織の充実・拡大。
- ⑥ 海外支部の設立支援・充実。
- ⑦ 母校への貢献策の検討と実施。

3. 母校創立130周年事業の支援

法人・教学の具体的な諸事業については
平成26年6月より開始される。

「校友会」の事業計画も130周年事業として
各位の思いを反映して、具体的な取り組みを
開始する。

各位の「**創意・工夫・提案**」をお願いします。



関西大学校友会
KANSAI University Alumni Association



母校創立130周年事業の支援策

- ◆ 校友会130周年事業の開催
- ◆ 母校130周年募金事業への協賛
- ◆ 全国地域支部の130周年事業の支援
- ◆ 母校の建学の父「児島惟謙先生」の顕彰
- ◆ 母校・発祥の地・「願宗寺」のモニュメント建立
- ◆ 「蜂須賀・桜」の植樹活動
- ◆ 堂島川・地域フェスティバルの協賛
- ◆ その他、有意義な事業

第102回定時代議員会を開催

100周年記念会館

平成26年3月29日





創立130周年記念事業

「実行計画」と「募金計画」を発表

記念事業総額40億円、募金目標額20億円
いよいよ6月から募金活動開始へ

【基本方針】

1. 基本的な考え方
2. 記念事業の基本方針
3. コンセプト～ 伝統への自信 ・未来への行動
(機関誌「関大」5月号 を参照下さい。)

関西大学創立130周年記念事業の概要

- ◆ 1. 千里山キャンパスへの新しいアクセス空間の整備など、各キャンパスにおける「**地域連携地域貢献**」を促進する様々な取り組みを実践します。
- ◆ 2. 「**考動する関大人**」を具現化すべく「**関西大学グローバルフロンティアプログラム (KUGF)**」を開発・提供し、グローバルリーダーの育成に努めます。

- ◆ 3. 「大阪」をキーワードに「**関西大学なにわ大阪研究センター**」を設立し、「総合科学」の観点から、その成果を学内外に発信します。
- ◆ 4. 産学官連携の新たな研究拠点「**関西大学イノベーション創生センター**」を設立し、最先端の研究装置・設備群を擁する日本有数の**産学官連携・共同研究拠点**を形成します。
- ◆ 5. 関西大学の「**学縁**」を世界に広げ、奨学生同士や卒業生・修了生との縦横無尽の交流（縁）を創出します。

キャッチコピーと シンボルマークが決定する



【実行計画(大要)】 予算: 40億円

1. 千里山キャンパスの「知的創造空間」の創出 20億円
2. 「関西大学グローバルフロンティアプログラム (KUGF)」の開発・提供による次世代グローバルリーダーの育成 6億円
3. 「関西大学イノベーション創生センター」の設立9.5億円
4. 「関西大学なにわ大阪研究センター」の設立 5千万円
5. 「関西大学『学縁』給付奨学金制度」の構築および校友会、教育後援会、併設校等との連携による「オール関大」としての各種事業の実施 4億円

「関西大学国際化戦略2014-2023 TRIPLE I 構想」を策定



「関西大学国際化戦略2014-2023 TRIPLE I (トリプル・アイ) 構想」

楠見晴重学長 私大連副会長に就任



6月17日に開催された一般社団法人日本私立大学連盟(私大連)の平成26年度第1回(第200回定時)総会並びに26年度第3回(第562回)理事会で、同法人役員の任期満了に伴う選任が行われ、楠見晴重学長が理事及び副会長に就任された。

「イオン液体リチウム二次電池」 人工衛星に搭載し世界初の実験へ



化学生命工学部の石川正司教授と山縣雅紀准教授は、
(株)第一工業製薬及びエルクセル(株)と共同で開発した
「**イオン液体リチウム二次電池**」を人工衛星に搭載し世界
で初めて地球周回軌道での実験を行うことになった。

学の実化賞、研究奨励賞等の表彰

—関西大学科学技術振興会—



第11回目となる「学の実化賞」は、化学生命工学部・長岡康夫教授の「メラニン産生促進フラボノイドの同定と活性発現メカニズムの解明」に係る実績および産学連携活動への先駆的な取り組みが評価された。

2014スプリングフェスティバル

肌寒い1日ながら全国から4000人集う
各団体の総会等開催報告(校友会登録組織を中心に)



新緑のキャンパスで教育後援会総会

5月18日



「父母(保護者)の一日大学」を開催

第30回記念支部対抗親睦ゴルフ大会を開催

5月26日



団体は堺支部が2連覇、個人は池田・加山氏が優勝

6月14日

関西大学校友会
第103回定時代議員会



750余人出席し第103回定時代議員会開く

平成26年度全国組織代表者会議

、7月5日



代表者会議機に更なる組織の活性化



大学の国際化について
李台湾OB会長が講演



ユニークな活動を展開の6支部
で次世代担う若手をパネラーに
討議

天神祭・船渡御に「関大丸」9度目の就航 市民に「関西大学創立130周年」をアピール



天神祭・船渡御に「関大丸」9度目の就航
「関西大学創立130周年」をアピール



9月1日に校友会Facebookページを開設



天六キャンパスを売却し 梅田に新拠点を開設



関係者ら350人集い クロージング・セレモニーを挙



9月3日午後6時からクロージング・イベント「ありがとう天六学舎

海外校友会支部の現状

2014.10.1現在



揖龍支部

20余年ぶりの再建総会成功裡に終わる

高齢者トリオが準備、山本氏が支部長に



6月8日、割烹旅館・森重で校友22人

海外支部だより校友トピックス

台湾OB会（李銘坤会長）では、2014年第1回例会及び新年会を2月22日に台北市内の聚馥園餐廳で開いた。



23人参集し第1回例会・新年会開く年1回の総会は8月16日（土）に開催



塩卓悟氏送別会を開催

サイゴン千里会

第15回目となる会合を3月4日に、支部旗が常時掲げられ聖地ともいえる「ドラゴンホットポット」にて9人参加のもと開催した。



宗岡教授の調査に協力15回会合で懇親深める

ロサンゼルス千里会

南加大学同窓会対抗ゴルフ大会 ユニホーム新調し精鋭6人が参加



6月8日に23大学155人の出場者を得て
Fontana市のSierra Lakes Golf Club
で開催され、関大からは精鋭6人が参加しました。

JKT千里会、7月4日

福田さんの送別会兼ねて定例会開催



中央ジャカルタの日本食レストラン「パサラ」で、駐在2年目になる福田麻里さんの送別会を兼ねた定例会を開催した。

インド・バンガロールで初の千里会開催



7月10日、南インドのバンガロールにて、
第1回関西大学インド千里会を開催しました。

香港千里会

久しぶりに7人が集う関大同窓の精神を共有



昨年製作された立派な会旗を間近で見るのが初めての方もおられ、世代は異なれど同じ大学で学んだ精神を共有できました。

上海訪問の学生と交流会

関大の絆感じながら歓談

上海関大会



上海関大会では、**8月22日**、関西大学グローバル企業体感プログラムの国際インターンシップとして上海を訪れた学生ら15人との交流会を京坊大酒店で開催、上海関大会からも14人が参加した。

法科大学院再生の支援策

- ①校友会司法試験合格支援給付奨学金
- ②校友会司法試験直前模試受講助成金

<平成26年度>

校友会・学生支援部会

支援給付奨学金の決定結果

平成26年度の校友会給付奨学生19名を採用し、**入学者総数27名の7割**を占める。

給付額の内訳は以下の通り。

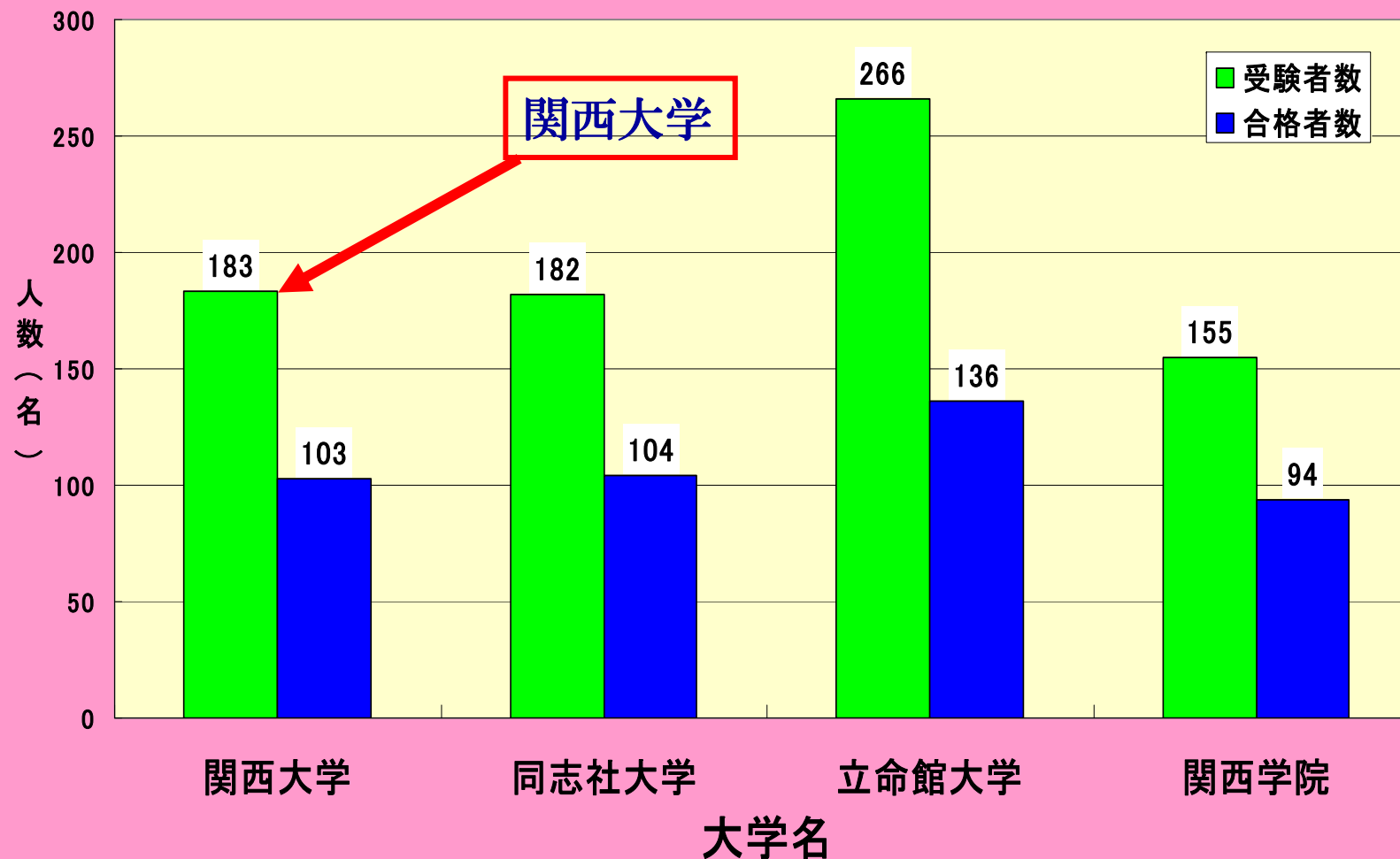
- ① 120万円が2名
- ② 60万円が3名
- ③ 30万円が14名

合計 19名

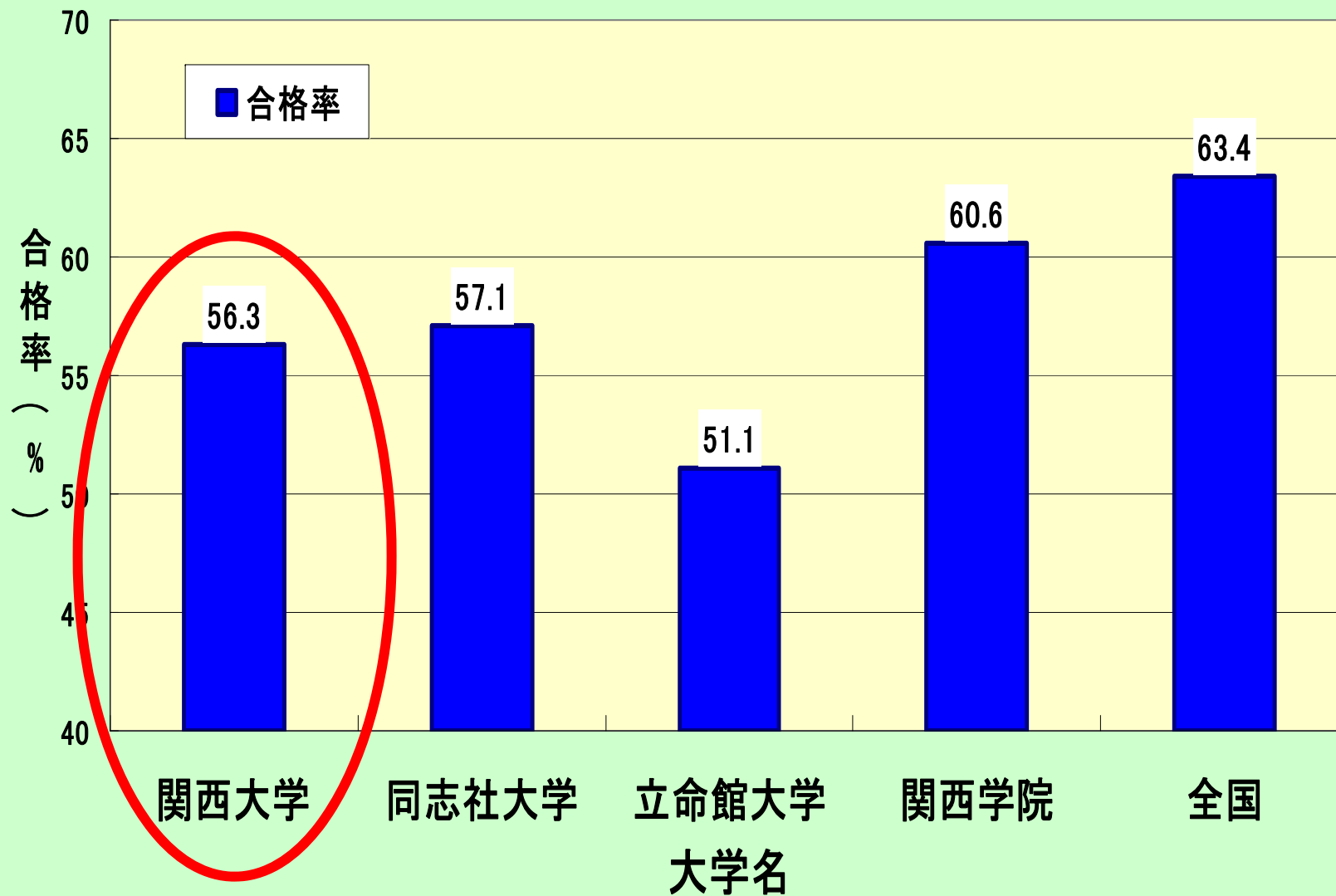
給付総額 8 4 0 万円

短答式試験の受験者数と合格者数

関西四私大・短答式試験の受験者数と合格者数



各大学と全体受験者の合格率



「本学法科大学院の現状」

本学法科大学院が今後も一定の入学者を恒常的に確保し、**過去の名声を回復するため**、客観的なデータを踏まえることが不可欠であると考え、平成23年度以降

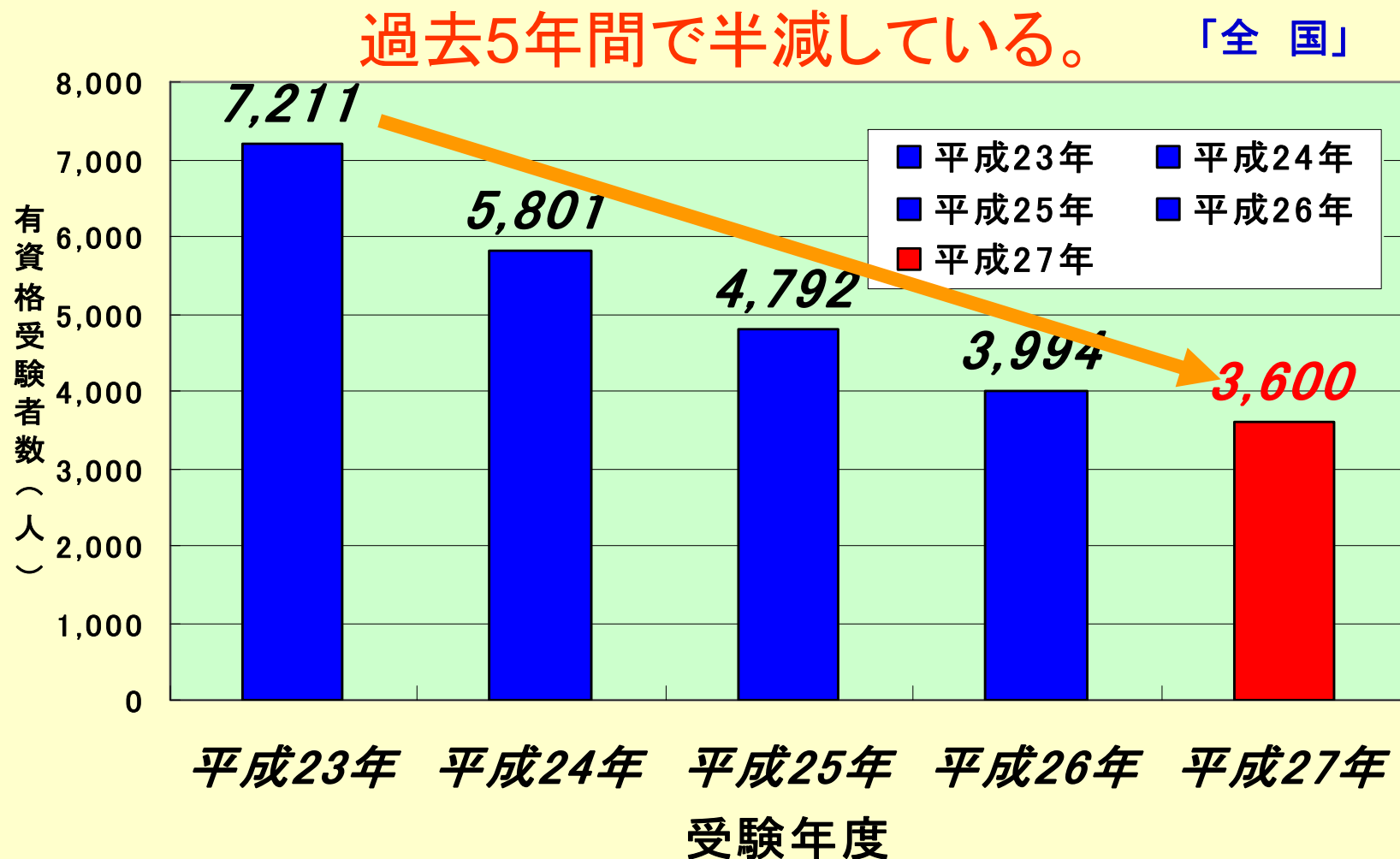
平成26年度までの母校の法科大学院に係る各種データを収集し、データ化を図った。それには本学法科大学院を取り巻く**入試受験生市場**が現在どうなっているのかをしっかりと把握しなければなりません。

法科大学院に関する各種データ

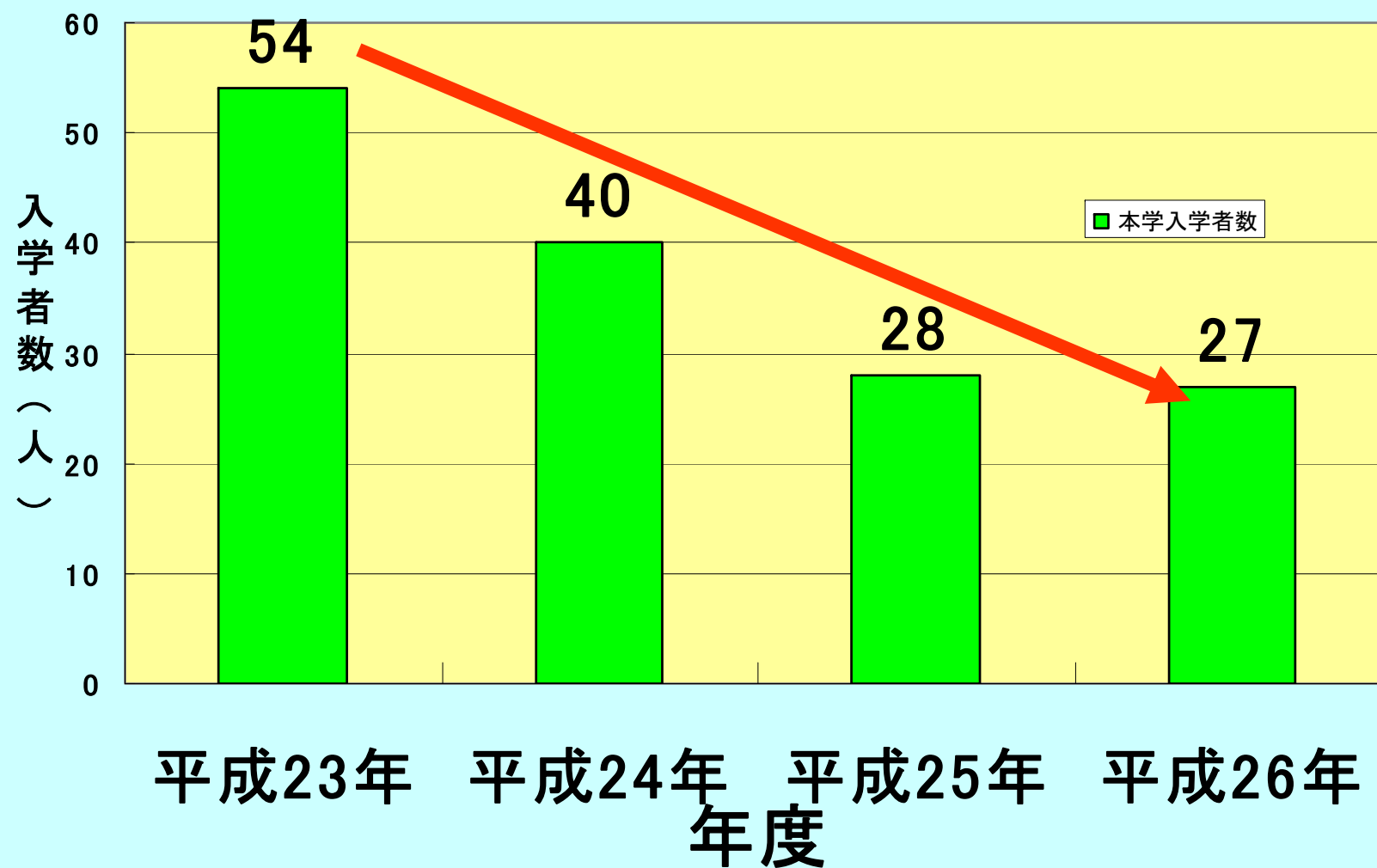
受験年度	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
入学有資格 受験者数	7,211	5,801	4,792	3,994	3,600
前年度比較		-1,410	-1,009	-798	???
本学入学者 数	54	40	28	27	???
全国学生数	3,651			2,423	
学生の占め る割合	50.60%			60.70%	

法科大学院入試を受験するためには前提として 適性試験を受験する必要があり、適性試験は現在は日弁連法務研究財団が実施している。

法科大学院・入学有資格受験者数の推移



本学法科大学院入学者数の推移

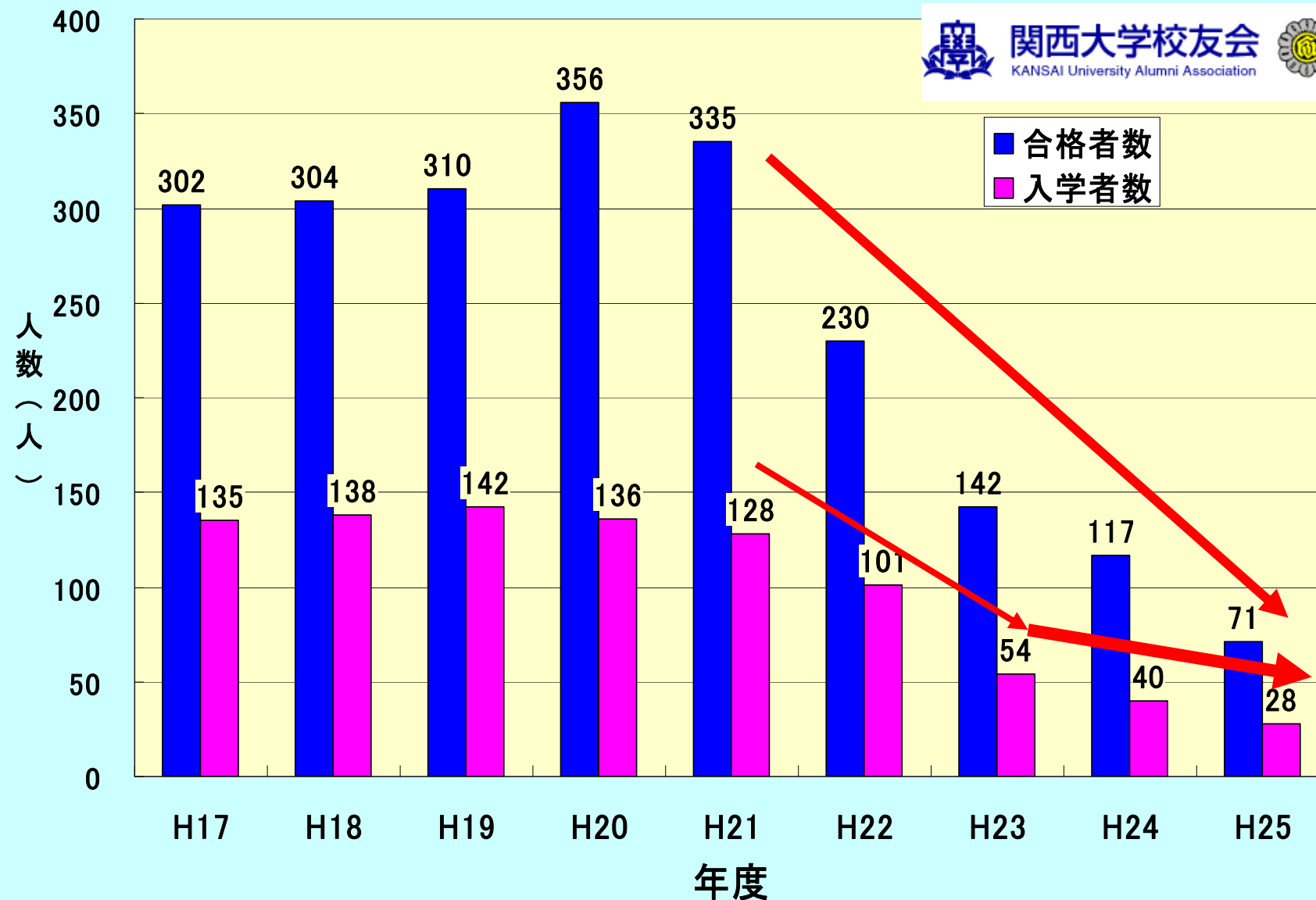


法務研究科 合格者・入学者の推移

(H.17~H.25)



関西大学校友会
KANSAI University Alumni Association



平成26年度秋季リーグ戦 優勝！



＜会長からの提言＞

21世紀総合学園を目指す、母校関西大学の今後のご発展・活躍を祈念するとともに、我々40余万校友はこの国の歴史・文化を携え、且つこの国の行く末を託せる学徒の育成を期待する。

そのため、我々は常に母校の動静を注視し、母校の永続的な充実・発展のため、物心両面に渡って協力・援助することを惜しまない。

平成26年10月19日

校友会 会長 寺内俊太郎